

平成30年度 「言語聴覚の日」イベント報告



山口県

平成30年10月8日 啓発活動感想

10月8日に山口県東部ブロックの言語聴覚士啓発活動として、周南市で開催される「第14回ぶち元気がいいね！フェスタ」に参加しました。内容は言語聴覚士のパネル展示、とろみを添加した飲料の体験、栄養補助食品サンプルの紹介・配布、ご来場された方の相談を行いました。ブースにはお子様からご年配の方までたくさんの方がご来場され、飲み込みについての悩みや認知症の相談など多くの相談が寄せられとても好評でした。病院に勤務している私にとっては、地域の方とお話する機会は少なく、地域の方がどんなことに興味を持っており、どんなことに不安を抱えているかを知ることができ、良い刺激になりました。活動を通して介護予防の必要性や地域の通いの場の必要性を改めて実感しました。またとろみを添加した飲料の試飲ではとろみを知らない方が多く、味や粘性に驚かれており興味を持っていただけたと思います。

今回の啓発活動を通して、言語聴覚士が他のリハ職に比べてまだまだ認識が低い職業であることや、言語聴覚士を必要としている方がたくさんいること、また病院だけでなく地域での活動の必要性を感じました。多くの方に言語聴覚士を知ってもらうためにも、地域活動や啓発活動を東部ブロックに所属している言語聴覚士と連携を図りながら取り組んでいきたいと思っています。

徳山リハビリテーション病院 藤田 光沙

